



紅花書道塾

代表 栗津 あわづ 紅花 こうか さん

「自分が停滞している間にも生徒たちはどんどん伸びていきます。いつも努力して距離を保っていないければ…」
小学生には硬筆もある。中学生になると好きなものを書ける。高校生になってコンクール前でも忙しくて来られない場合は、作品をデジタルで撮り夜中に写メールで送って来たりする。「コンクール前は週1回では間に合わないのです」。若い先生ならではの付き合い方だ。がんばる子には、どんどんコンクールへの出品を勧める。

遅い時間は大人の時間。それぞれが週一度の時間を楽しんでいる。
▼毎週木曜(月4回、5週目は休み)、午後3時半～7時。月謝3さん。
500円、入会金3000円。場所/堀の内第2町内会館(南区)他。
問い合わせ ☎045(712)3515栗津

「待ってー写真撮るならもう一枚書く」「私も書く」「おれはこれでいいや」

木曜の午後は小・中学生の時間だ。楽しそうにワイワイ。子供たちにとって筆を持つことも遊びの延長なのだろうか。

栗津先生は若いが、書道界では実力者。3カ所の稽古場に70人の弟子を抱える。幼稚園児から一般まで、男女半々。

